



田七人参をご存知でしょうか？
田七人参は朝鮮人参と同じくウコギ科の多年生植物で、地上部は朝鮮人参とよく似ておりますが、使用する塊根は全く違った形をした人参です。

田七人参は朝鮮人参のような白く細長い根とは異なり、褐色のゴツゴツした塊で、非常に硬いのが特徴です。

朝鮮人参は日本薬局方にも収載されており日本でも知る人ぞ知るものですが、田七人参はまだ知名度が低い素材です。

今回はそんな知られざる田七人参の紹介をさせていただきます。

特集

でんしち 田七人参

豊富な栄養素！ お金にも換えられない価値！



▲田七人参塊根

特にギンセノシド類(サポニンの一種)は、成光分析結果(図1)で朝鮮人参と比べてギンセノシドR_{g1}が約十倍、ギンセノシドR_{b1}が約五倍多く含有していました。さらにビタミン、ミネラル、有機ゲルマニウム、田七ケトン、フラボノ配糖体なども含まれます。これらには優れた効能があり、人が生きていく上で重要な役割を担ってくれるものばかりなのです。

田七人参は収穫できるまでに三〜七年を要するため、三七人参とも呼ばれています。その間、土地の養分を吸収し尽くすので、収穫後は十年間土地を休ませなければならぬ程です。また、田七人参は中国でもごく限られた地域でしか栽培できず、収穫量も限られているため、中国政府が長く禁輸政策を執っていました。そんな田七人参を中国政府は国賓への贈答品などに使用し、大変貴重なため「金不換」とも呼ばれ、お金にも換えがたいものとされています。

では田七人参はなぜそれほどまでに珍重されるのでしょうか？ それは含まれている有効成分が朝鮮人参を遥かにしのぐからです。



成光は独自の薬を創る伝統があります
成光薬品工業株式会社
〒635-0834 奈良県北葛城郡広陵町大塚739
TEL 0745-55-0044 FAX 0745-55-5265
URL http://www.asm.ne.jp/~seikou/

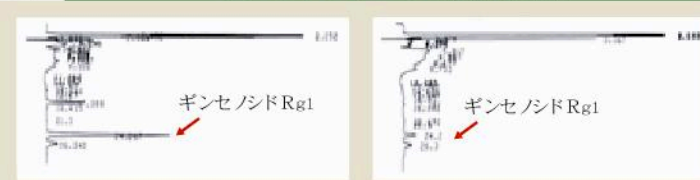
理念

○漢方薬医薬品の販売は、一人一人の人間を救う事ができる神の御業である
○中身は日本一、天下一、神に捧げる品也
○人を育てるとは、天に通じる心をみがく事にある



錦尾様 明治時代の版木より

図1 ギンセノシドR_{g1} 分析結果



▲田七人参の分析結果 ▲朝鮮人参の分析結果

上記のグラフはギンセノシドR_{g1}の分析結果です。左が田七人参、右が朝鮮人参です。朝鮮人参を遥かに凌ぐギンセノシドR_{g1}が含有されている事がわかります。

肝・糖・減・肥

450錠入り(1錠250mg)
価格 ¥9,800 (税込 ¥10,290)
賞味期限: 5~10年
(日、月~消費期限)

成光の 肝・糖・減・肥とは？

成光の田七人参錠「肝・糖・減・肥」は有機栽培田七人参を100%使用し、混ぜものを使用せず、召し上がりやすいように錠剤形にしたものです。

有機栽培田七人参は中国雲南省で栽培され、近辺の慣行農法畑から十分に距離を置いた土地で、慣行農法畑で使用される農薬の影響を受けないように考慮されています。

有機栽培田七人参は種子も太陽殺菌のみの種子を用い、雑草は手で抜き、病害虫を発見した場合は速やかに原因を調査、対処しています。

また、普通田七人参は磨き工程で虫穴を隠したり、水分が飛んで重さが減らないようにステアリン酸、石炭灰、蜜蝋などを添加しますが、有機栽培田七人参の磨き工程では何も加えず、無添加です。

このような有機栽培田七人参は有機JAS認定機関の認定を受け、証明書が発行されます。成光ではこの証明書が添付された有機田七人参のみを用い、成光の医薬品製造工場にて製品としています。

これが、「肝・糖・減・肥」なのです！

成光薬品の 相談窓口 情報

Q (相談)
高血圧ですが、仁救Gを飲んででもよろしいでしょうか？

A (回答)
大丈夫です。
仁救Gは心臓の筋肉を賦活化させますが、それによって血圧が急激に上がることはありません。むしろ飲み続けることにより、血管を支配している自律神経のバランスをよくなりますので、血圧は安定します。しばらく飲んでみて、問題がなければ飲み続けてよいです。

このように、成光薬品では相談窓口を開設しております。お電話の際は「相談窓口お願いします」と、お気軽にお申し付け下さい。

相談窓口 **0745(55)0044**

受付時間 10時～17時(土・日・祝を除く)

相談窓口担当者 管理薬剤師 小原 喜博
おぼら よしひろ

有機JAS法って？

有機JAS法とは「有機栽培」「有機農法」で栽培された農産物を国が認定する制度です。

有機JAS認定とは国が指定した有機JAS認定機関により検査を受け認証された「三年以上農薬、化学肥料を使わず、たい肥などで土作りをして栽培された農産物」の事です。

二〇〇〇年に有機農産物及び有機農産物加工食品の特定JAS規格が定められ、検査認証を受けて「有機JASマーク」が付けられたもの以外は「有機」という表示をしてはならないという制度が導入されました。ですから、有機JASマークが付いた商品は安心して購入できる目安となります。

▲田七人参三年生苗